

# げん き がく しゃ 「元輝学舎」せんだ通信 5

児童川柳 「 あいさつは 笑顔でないと 伝わらない 」

平成23年 9月 6日

～ 校長室だより～

長～い夏休みが終わり、教室や運動場、プールには、児童の笑顔と歓声が戻ってきました。一段と逞しさを増した児童は、夏休みモードも消え、落ち着いた雰囲気の中、新しい学校生活を始め、その姿に「すごい」と感動する毎日です。

また、体育館からは、太鼓などの音が聞こえてきます。実に心地よい。この25日（日）に開催される運動会の開始を告げる6年生による鼓笛隊の練習です。明るい曲想での多いリズム音に、なんだか心と体が弾んできます。6年生による合奏表現にご期待を。



加えて、体育館には、弛緩でなく緊張の空気も漂ってきます。昨年度から運動会のプログラムに加わった5年生による組体操の練習が始まったのです。「美と統制」を表現する組体操は、支え支えられる協働活動でもあります。練習を開始しばかりのこの時期、既に児童の瞳はきらきら輝いています。5年生による組体操にご期待を。

児童の夏休みの作品は、千田小の宝もの

廊下の掲示板や教室の棚には、夏休みの課題や自由研究の成果が並ぶ。例えば、低学年の掲示板には、夏休みの思い出を綴った絵日記が。楽しさのにじみ出ている絵にたまたまカメラをONに。中学年の棚には、粘土などを材料にした造形作品が。これらの出来映えのよさに、これまたカメラをONに。参観日などでご鑑賞ください。



また、代表的な戦国武将と城が白地図にまとめられてもいます。なかに、我が郷土廣島を築いた毛利元就と毛利輝元像、広島城も描かれている。思い出す石碑があります。それは吉田にある郡山城の元就の墓の向かえに立つ石碑で、そこには、「百万一心」（皆が力を合わせれば、何事も成し得ることができの意）と刻まれています。

長月に、授業で詩と短歌を味わう子どもたち

我が国にも叙情や郷愁を誘う詩や短歌が数多く残されている。詩人川崎洋の『いま始まる新しいいま』もその一つです。視写して、詩に用いられている言葉一つ一つと行間を、連のつながりを心と頭で感じ考え味わう子どもたち。

その第三連には、このような表現が・・・

きのう知らなかったことを きょう知る喜び  
きのう気がつかなかったけど きょう見えてくるものがある  
日々新くなる世界

児童も私たちも、喜びや葛藤などの毎日であり、そのなかでさまざまな学習を積み知恵を獲得しています。しかし学び忘れていることも多いようです。この詩は、なんだか「希望」や「夢」を運んでくれそうな気がしませんか。